

労農連帯を一層強め、三里塚・ジエット闘争を貫徹しよう！

6/8 オ5回
支部代会議

木綿成支部の早期結成に全力を！

訃報

成田支部組合員 鈴木剛氏（電運士）
は、六月八日突然倒れられ医療のかいもなく同日夕刻急逝されました。謹んで全組合員にお知らせすると共に故人の御冥福をお祈りします。

告別式 六月十一日 十二時～十三時
自宅 成田市新町一〇六二（成田駅前）

日刊
動労千葉

143
No.

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
(鉄道二三五八九・公衆四四三二七一〇七)

職場をナシナリナリ、組合・サークル・共済活動を活発に

六月八日動労千葉オ5回支部代表者会議が開催され、この間の組織破壊攻撃との関係、当面する組織体制の一層の整備確立に向けた現情勢について種々討議する中で次の何点かにわたる具体的取り組みについて確認しました。

『組織破壊との関係の現情勢』
『本部』暴力集団の展望

今日、「本部」暴力集団は、ペテンと恫喝の組織引き廻しが次々と暴露され、路線上の決定的破産もかくしあおせず、それ故により凶暴な、より陰湿なやり口で動労千葉攻撃を続けており、というのがその特徴ようです。

「3万名」にも及ぶ大量動員、「一億数千万円」（動労千葉組合員一人当たり10万円以上も投入したことになる！）の組合費を投入しても破壊できなかつた動労千葉の団結力の前にすっかり展望を無くしてしまつていているのが実情です。今も各支部にダラダラと押しかけてきている「オルグ」は日に日に数が減り、どこでも相手にされず詰所のスミにしょんぼり座って時間が来ればさえない顔で引き上げて行くという彼らの姿によくあらわれています。その上、全国大会にあけての代議員選挙（6月8日選挙委発足）をひかれ、「破壊オルグ」「財政ピンチ」等々の「本部」の指導責任が向われ、全国至る所で様々な「造反」が始まつていては「展望」どころのさわぎではないのももともかも知れませんが……。

そういう破綻状況を反映して、最近の攻撃の特徴は

- ①公労季に対しなりふりかまわぬ優柔と横やりで何とか動労千葉の前進・交渉を妨害せんとあがき、
- ②短期転勤者の弱みにつけこんで「再建千葉地本・支部をつくれ」と恫喝し、走りまわり何とか形ばかりでも「再建千葉の代議員」を示す上昇んとし、認書に署名してくれ」と個別オルグに
- ③「全国大会に傍聴出席してくれ」「確走りまわり何とか形ばかりでも「再建千葉の代議員」を示す上昇んとし、認書に署名してくれ」と個別オルグに
- ④極少数の「内通者」をテコに「金」と「酒」で組織撲滅を策して失敗しそうる。

こうした彼らの狙いを明確につかみとり一つ一つ的確に反撃してゆく体制を全支部とも強固に確立してゆくことが確認されました。

『具体的とにくみを決定』
蘇我支部結成を勝ちとり、全支部・分科の結成を。日常活動の更なる活発化を。

具體的とにくみについては、
①未結成三支部の六月結成。とりわけ蘇我支部は80%強の団結署名を完了したので早急に結成大会を開く旨が報告されました。
②サークル協の結成と活動の強化。
野球（6月28日）ソフト（6月）イモ堀り（7月）実施。
③交歩体制の強化。これまでの「昇結」順調に行われているが「本部」が、公送「二線高架」につづき6月より「夏期輸送」交歩に入る。交歩は全く支障なく組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！
④総務・財政体制の強化確立。共済・労金業務等、從来方針を踏まえし強化。等が確認されました。

「本部」のゆきづまりからくる陰湿な攻撃をはねのけ、この支部代方針のもと日常的職場活動を堅持・発展させ、一回〇〇名の団結の力で新生動労千葉の体制強化・たくましい前進を勝ちとつこう！